

コーディネーター通信

今年度後半と通年で地域の皆様と関わった活動を紹介します。

題字デザイン：美術部1年 齋藤心晴

○1年次 総合的な探究の時間 【通年】

6月から翌年2月の発表までの期間、探究サポーターの皆様定期的に来校または ZOOM を使って生徒のアドバイザー「探究サポーター」として伴走をしていただきました。

夏休みには地域の皆様のもとに訪問させていただいたり、また10月23日に実施されたフィールドワークでは、アンケート調査や実態把握のためのヒアリングなどを行ったりしました。その後、2月12日にはお世話になった探究サポーターさんをお招きし、成果発表会を実施しました。「若い視点、フレッシュな考え、自由な発想が楽しかった。」「刺激をもらった。」などの感想をいただきました。



探究サポーターという形で大人の皆さんが本校の生徒と関わってくださることは、生徒たちの社会性や協調性を養う一助となっており、非常にありがたく感じております。生徒は地域や企業の方と定期的に交流することで活発な探究活動を実現することができました。関わってくださった26の企業・団体・事業所の皆様に、心より感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

○異文化交流会 【11月】

今年もPTA主催の異文化交流会に、9カ国10名の外国の方が来校してくださいました。1年次の教室では聞きなれない国の言葉の挨拶が聞こえてきたり、さまざまな国の建物、料理などのスライド写真が見られました。

職業も国籍も違うさまざまな外国の方が「なぜ日本に?」「日本と自国の違いは?」「国際人として必要な力は?」などについてお話をしてくれました。





英語でプレゼンしてくださったゲストの方には高校生も英語をつかって質問をしたり、まだ日本に住んでいる期間の短い留学生が、上手な日本語で話をしてくれたことに驚きを感じたりする生徒もいたようでした。時間が進むとともにゲストさんと生徒の緊張もほぐれてさまざまな質問や感想が行き交い、楽しい時間となりました。

○英語ディベートコース 地域貢献プログラム 【12月】

昨年度に引き続き、今年度も得意の「英語を使って地域貢献をしよう！」のプログラムを実施しました。今年は、A:「英語を使った子ども向けのレクリエーションをしよう」チームとB:「新潟在住の外国の方の困りごとをサポートしよう」チームに分かれて活動をしました。Aチームは低学年、高学年に分かれて難易度の異なる英語のクイズを考え、沼垂ひまわりクラブを訪問して、実践を行いました。Bチームは自分たちで考えた新潟駅周辺



の日本の文化や新潟らしさを感じるスポットの案内をしながら、外国の方とのコミュニケーションを楽しみ、その中で生活の違いや普段の困りごとなどのリサーチを行いました。

実践で得られた学びや感じた思いは、この授業のまとめとして行なったプレゼンテーションの中にも盛り込まれて、自分の将来や進路に活かしたいと思う生徒もいたようです。ご協力いただいた、学校、ひまわりクラブの皆様、参加者の皆様ありがとうございました。

今年度も本校の学びを地域の皆様にサポートいただき感謝申し上げます。
2025年度も引き続きよろしく願いいたします。

地域教育コーディネーターとは??

『学』（学校）と『社』（公民館、図書館などの社会教育施設）、『民』（地域住民、家庭、地域）を結ぶ役割を担っています。万代高校や地域の皆さんの様々な情報を相互発信していきます。

高校生との連携にご興味や相談ごとがあればいつでもご連絡ください。



万代高等学校

地域教育コーディネーター しやま 司山 園美 / 教頭 島 和宏
電話 025-241-0193 (代表)

新潟市パートナーシップ事業 : https://www.city.niigata.lg.jp/smph/kosodate/gakko/f_index/p_index/index.html